

1. 科目名 (単位数)	教師論 (中等) (2単位)	3. 科目番号	EDTS1102
2. 授業担当教員	駒井 隆治		
4. 授業形態	講義・グループ討議・ワークシート・レポート・試験	5. 開講学期	春期/秋期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	国際化・情報化・科学技術の発展・環境問題など変化の激しい今日の社会において、学校教育の場においても様々な課題が生じている。この課題を解決するためには、学校教育の主たる担い手である教員の役割や責任が今まで以上に大きくなっている。これからの教員は、教科に関する知識を単に教授するだけでなく、広い視野に立ち、思いやりのある人間性豊かな子どもを育成することが求められている。本科目では、教職とは何か、これからの教員に求められる資質・能力とは何か、教員の仕事と役割とはどのようなものか、教員の権利や義務(サービス・研修・身分保障などを含む。)は、法律上、どのように規定されているのかなど教職を志す学生があらかじめ教職について知っておく必要がある事項を考察する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教職観の変遷について理解するとともに、教師に求められる資質・能力について考察することができるようになる。</li> <li>2. 教員養成の歴史の変遷について理解するとともに、現在の教員養成の現状について考察することができるようになる。</li> <li>3. 教員の役割と仕事について理解するとともに、現在、教員に期待されている役割について考察することができるようになる。</li> <li>4. 教員の養成・採用・研修について理解し、教師のライフコースについて考察することができるようになる。</li> <li>5. 自分の適性を理解し、なりたい教師像について考察することができるようになる。</li> </ol>		
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	<p>予習課題や探求的な課題に積極的に取り組み、主体的かつ対話型の学習によって理解を深め、目指す教師像を明確に描くことができるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎回、授業終了前に授業内容についてのリアクションペーパーを提出する。</li> <li>2. 期末レポート「教師論から学んだことについて述べよ。」(1,000字)</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】佐島群巳・小池俊夫『新訂版 教職論』学文社、2016</p> <p>【参考書】佐藤晴雄著『教職概論-教職を目指す人のために- (第5次改訂版)』学陽書房、2018。</p> <p>【教材】授業内でワークシートを配布する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教職観の変遷について理解するとともに教師に求められる資質・能力について考察することができたか。</li> <li>2. 教員養成の歴史の変遷について理解するとともに教員養成の現状について考察することができたか。</li> <li>3. 教員の役割と仕事について理解し、教員に期待されている役割について考察することができたか。</li> <li>4. 教員の養成・採用・研修について理解し、教師のライフコースについて考察することができたか。</li> <li>5. 自分の適性を理解し、なりたい教師像について考察することができたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度、課題ワークシート、課題レポート、期末試験、期末レポート等を総合して評価する。]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への積極的参加 総合点の40%</li> <li>2. 課題ワークシート・課題レポート 総合点の30%</li> <li>3. 期末試験または期末レポート 総合点の30%</li> </ol> <p>また、本学の規定に定められている3/4以上の出席が成績付与の条件となることとした。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業中は私語を慎み、携帯電話の電源を切って参加すること。</li> <li>2. グループワークやグループ討議には積極的に参加すること。</li> <li>3. 授業中に分からなかったことや疑問点は後に残さずに授業後に質問すること。</li> <li>4. レポートや課題(ワークシート等)の提出期限を守ること。</li> <li>5. 正当な理由のない遅刻、早退、欠席はしないこと。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	初回講義で連絡する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション「よい教育に努める教師像」を描き、初志をまとめる	事前学習	序章を読み、「よい教育に努める教師像」を描く。
		事後学習	教育の原理と初志を書きとめる。
第2回	教師への扉を開く(第1章) —子どもに向かい合う教師のあり方—	事前学習	教科書の「第1章」を読み、子どもたちに向かい合う教師のあり方を考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第3回	教師という仕事(第2章) —子どもの好きな先生像—	事前学習	教科書「第2章」を読み、子どもの変容に気づく教師の存在意義について考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第4回	子どもの見方・とらえ方(第3章) —子どもの今日的な問題とのかかわり方—	事前学習	教科書「第3章」を読み、学校での今日的な問題の捉え方を考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第5回	教員養成政策の変化と「専門職」としての教師(第4章) —教員養成の制度から考える—	事前学習	教科書「第4章」を読み、教員養成政策と専門職としての教師のかかわりを考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。

第6回	学級経営と教師の力（第5章） —学級経営の意義と実践—	事前学習	教科書「第5章」を読み、学級経営の意義と実践について調べる。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第7回	就学前の教育（第6章） —就学前の教育と小学校との連携—	事前学習	教科書「第6章」を読み、就学前と小学校との連携について考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第8回	豊かなカリキュラムを創る教師（第7章） —カリキュラム・マネジメントとは—	事前学習	教科書「第7章」を読み、カリキュラム編成とカリキュラム・マネジメントについて調べる。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第9回	授業の見方・とらえ方とつくり方「（第8章） —子どもが主人公となる授業づくり—	事前学習	教科書「第8章」を読み、生徒が主人公となる授業づくりを考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第10回	教師のメンタルヘルス（第9章） —教師の心の危機を乗り越える実践—	事前学習	教科書「第9章」を読み、教師のメンタルヘルスについて考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第11回	今、教師に求められていること（第10章） —求められている教師の資質・能力—	事前学習	教科書「第10章」を読み、今、求められている教師像について考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第12回	教えることと学ぶこと（第11章） —自己研修の意義—	事前学習	教科書「第11章」を読み、自己研修の意義と学び方を考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第13回	教員採用に向けて、今必要なこと（第12章） —教員採用までに必要な準備について—	事前学習	教科書「第12章」を読み、教員採用に向けて必要な準備を調べる。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第14回	人間の喜び・悲しみに共感できる教師（終章） —喜び・悲しみに共感できる教師—	事前学習	教科書「終章」を読み、高度な専門職としての教師の価値を考える。わからない部分をチェックする。
		事後学習	授業の内容から学んだことや疑問等をまとめる。
第15回	どのような教師を目指すのか —期末レポートの作成（1,000字）—	事前学習	どのような教師を目指すのか、期末レポートのあらましを考える。
		事後学習	これまでの15回の授業内容について整理し、演習課題の対策をおこなう。